

スマートエネルギーセンター

みなとパーク芝浦に第一スマートエネルギーセンターを構築することで、エネルギーの安定供給、省CO2、省エネ、エネルギーセキュリティの向上を実現します。また、セネムス（SENEMS）の活用により、エリアを熱・電気・情報のネットワークで連携し、エネルギーの需給最適制御、見える化を行います。

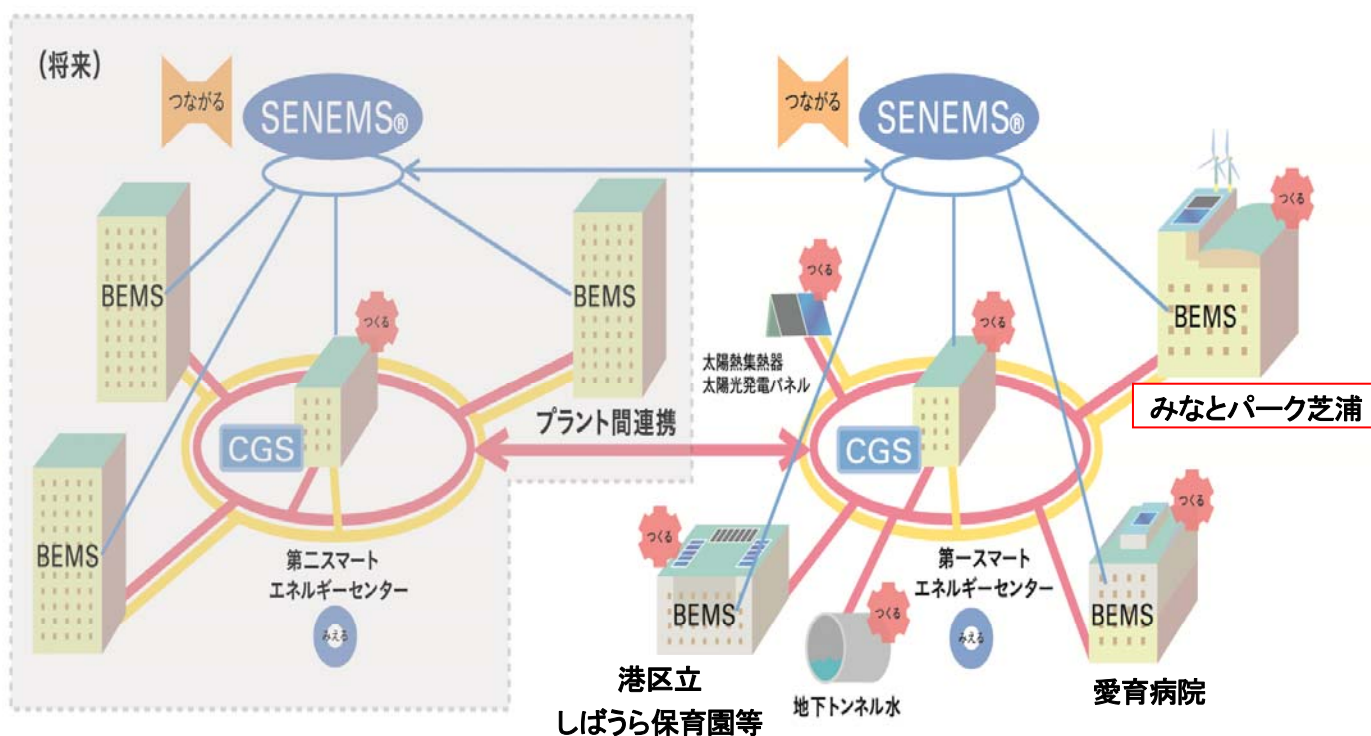
将来的には、民間街区に第二スマートエネルギーセンターを構築しプラント間連携を行うことで、街区全体の省CO2、省エネ、エネルギーセキュリティがさらに向上します。

～用語の解説～

SENEMS ICT（情報通信技術）を活用し、建物側の需要データ、プラント側の供給データなどを瞬時に分析処理し、エネルギー需給を最適にコントロールするシステム。

BEMS ビルディングエネルギーマネジメントシステム。ビルでのエネルギー消費量削減のため、機器・設備等を効率的に運転管理するシステム。

CGS コージェネレーションシステム。ガスで発電する際に発生する廃熱を冷暖房や給湯、蒸気などの用途に有効利用する省エネルギーシステム。



効果・特徴

- ・ 街区全体のCO2排出量を1990年と比較して45%削減
- ・ 再生可能エネルギーや未利用エネルギーを積極的に活用
- ・ 災害時等に熱・電気の継続供給を行うことによりエネルギーセキュリティを向上